

最近(2024-2025)のコルチャック協会としての活動を整理して報告し、そこで感じたことを書きたいと思います。総会前の情報提供(塚本智宏)

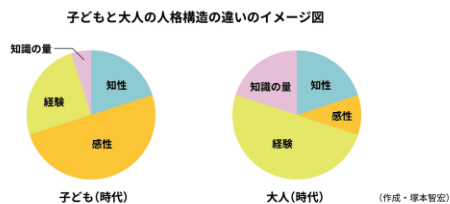
目次

1. 子どもの権利関係団体への活動協力
2. 出版社とのやりとり 写真提供
3. コルチャック展 啓発パネル・普及活動協力
4. 東京都人権啓発センター パネル展開催からパネル展示の内容の刷新 公開へ
5. 前事務局長藤井忠秀氏より引き継いだ資料等
6. その他の利用可能な JKA パネル展資料
7. 教育・児童福祉関係団体への活動協力
8. 現在のコルチャック研究の課題
9. 映画『コルチャック先生』リバイバル上映
10. 近年のわが国でのコルチャック研究の進展
11. コルチャック魔法使いのカイトウシの映画化
12. 演劇劇団ひまわり東京公演 2025『コルチャック先生』
13. 故松本照男さん(ワルシャワ)追悼

1.子どもの権利関係団体への活動協力

・SC セーブザチルドレン HP にインタビュー記事

<https://www.savechildren.or.jp/oyakonamikata/kodomo-no-mikata/interview4.html> を通じての子どもの権利擁護活動へ、コルチャックの子どもの権利思想・人格についての考え方紹介



・日本ユニセフ協会子どもの権利擁護・普及啓発講演会・学習会 '23 鳥取・'24-'25 千葉(下↓)



I would like to summarize and report on the recent (2024-2025) activities of the Korczak Society and write about what I felt there. Pre-General Meeting Information
(Responsible for this issue

Chihiro Tsukamoto)

Table of Contents

1. Cooperation with Children's Rights Organizations
2. Correspondence with Publishers: Photo Provision
3. Korczak Exhibition: Awareness Panels and Outreach Activities
4. Tokyo Human Rights Promotion Center Panel Exhibition: Renewal of Panel Exhibit Content and Opening
5. Materials Inherited from Former Secretary-General Tadahide Fujii
6. Other Available JKA Panel Exhibition Materials
7. Cooperation with Education and Child Welfare Organizations
8. Current Issues in Korczak Research
9. Revival Screening of the Film "Dr. Korczak"
10. Recent Developments in Korczak Research in Japan
11. Film Adaptation of "Kirchak the Magician"
12. Himawari Theater Company Tokyo Performance 2025: "Dr. Korczak"
13. Memorial to the Late Teruo Matsumoto (Warsaw)



・Japan Committee for UNICEF: Children's Rights Advocacy and Public Awareness-raising
 Lectures and Workshops:
 2023 Tottori,
 2024-2025 Chiba (see below)

2. 出版社関係 写真提供(著作権絡み)

- 立花出版(大澤亜里さん著書)
- 明治図書(中学国語教科書)
- 石風社(田村和子さん訳書)他、
- 児童福祉テキスト関係図書 etc.

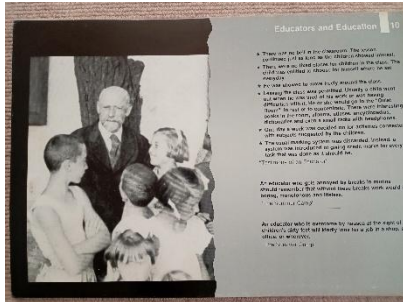
3. コルチャック展 啓発パネル作成・普及活動協力

- ① 故井上文勝さん(前会長・エルサレム居住)と 藤井忠英さん(前事務局長・八王子在住)の
 残した資料(札幌に) イスラエルで収集
 a. ゲットーファイター博物館発行
 展示パネル 20枚 (藤井さん宅)



パネルケース

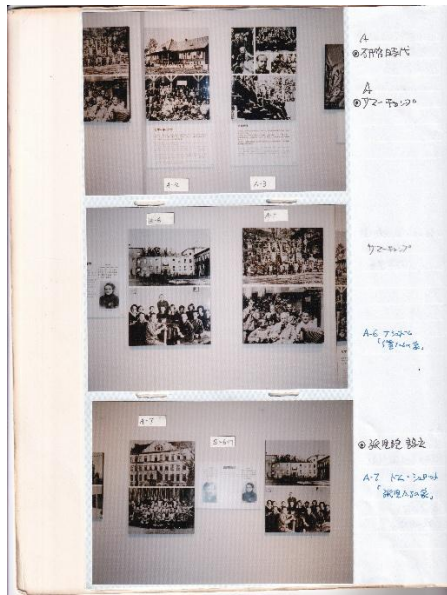
3. Korczak Exhibition: Creating educational panels and supporting outreach activities



パネル No.10

b. a.と同様、イスラエルの Yad Vashem ヤドヴァシエムから入手(複写した)“写真諸資料”(…コルチャツク肖像やゲッター関連写真)も藤井さん宅に保管されて来た。

②これら a.b.を資料として、新たに展示資料を井上・藤井が東京で作成し、1995 年東京の中野・日野でパネル展示「コルチャツクと子どもたち展」を実施(下記の写真ファイルは、その展示写真の一部。)



4.東京都人権啓発センターパネル製作、監修協力

- ①こどもの権利啓発パネル 作成協力・監修
 ”コルチャツク先生と子どもたち
 —子どもの権利のために—
 の展示パネル作成・協力
 2024 年 12 月～2025 年 8 月 20 完成
 →出版社が秋展示企画 都内本屋さん 2 店舗
- ②作成に当たり、土台となったのが、3 の②
 で、子ども総合研究所(新保)が藤井さんよ

**4. Tokyo Human Rights Promotion Center
 Panel Production and Supervision
 Cooperation**

- ① Cooperation and Supervision of
 Children’s Rights Awareness Panel
 Exhibition panel production and
 cooperation for "Dr. Korczak and
 Children – For Children’s Rights"
 December 2024 – August 20, 2025
 (Completion date)
 → Publisher’s Autumn Exhibition Plan: Two
 Bookstores in Tokyo

り買取り、啓発センターに寄贈されたもの。
制作;人権センター/制作協力;子ども総合
研究所・JKA 協会 / 監修塚本智宏となった。

③ 展示パネルの内容構成 a. + b.
a.年代毎(基本)パネル 1-8 枚全生涯と思想解説
b.各年代のコルチャック・孤児院コラムパネル
・歴史背景写真・ゲットー内の写真

a.挨拶パネルコルチャック先生と子ども達 / 知ってますか
と年代毎(基本)パネル下記 8 枚 全生涯と思想解説

・生涯年譜と子どもの権利リスト

0.子どもの権利の先駆者

1.1878-1898 子ども時代と学校時代

2.1898-1905 大学時代

3.1905-1912 小児科医時代から孤児院院長就任

4.1918-1931 コルチャックの行動と創造性ピークの時代

5.1932 狂気の時代

6.1934-1936 パレスチナ訪問

7.1932-1939 危機せまる時代

8.1939-1942 軽蔑と絶滅の時代

◎コルチャック年表 1878-1942

◎コルチャックによる子どもの権利尊重の精神 リスト

b.各年代の事実関連資料・発言のパネル

・孤児院・児童文学作品リスト・子どもの権利発言と

背景や施設や子どもたちの写真・コルチャック肖像写真

c.ゲットー写真、最後の行進、トレブリンカ地図

etc. →a.b.c. 会場に応じて増減

5. 前事務局長藤井さんの資料より

①"Tom Lasker"ホロコースト下子どもの
探偵小説作品)の調査

アンネ・フランクのオーストリア版とも呼ばれる
ヒーツィンク出身の少年ハンス・ゲオルク・フリー
ドマンの物語作品。ハンス・ゲオルク・フリードマン
は 10 歳で執筆を始め、1938 年から 1942 年に
かけて、名探偵トム・ラスカーを主人公にした冒険
スリラー小説を 13 冊執筆。これらの作品は現在
も保存されており、フリードマンの想像力を垣間見
ることができるといわれます。藤井ん宅に、そのリ
プリント版、数冊が保管されていました。

・今、独語から石川さんが翻訳を試みています。

③ Exhibition Panel Contents: a. + b.
a. Chronological (Basic) Panels 1-8:
Complete Life and Philosophy
b. Korczak and Orphanage Column Panels
by Era
Historical Background Photos and
Photographs of the Ghetto

a. Greeting Panel: Dr. Korczak and Children
/ Did You Know?

and Chronological (Basic) Panels (below,
8 panels): Complete Life and Philosophy
Chronology and Children's Rights List

0. Pioneer of Children's Rights

1. 1878-1898: Childhood and School
Years

2. 1898-1905: University Years

3. 1905-1912: From Pediatrician to
Orphanage Director

4. 1918-1931: Korczak's Peak of Action
and Creativity

5. 1932: The Madness

6. 1934-1936: Visit to Palestine

7. 1932-1939 The Crisis Era

8. 1939-1942: The Era of Contempt and
Extermination

◎Korczak Timeline 1878-1942

◎Korczak's Spirit of Respect for
Children's Rights List

b. Panels of Facts and Statements by Era
・Orphanage・List of Children's

Literature・Children's Rights

Statements

Photographs of Backgrounds,

Facilities, and Children・Portraits of

Korczak

c. Photographs of the Ghetto, the Last

March, a Map of Treblinka, etc. →a.b.c.

Increase or decrease depending on the
venue



②保存されている書籍・絵本・文献資料

- ・7冊トメク・ボガツキ 『コルチャック先生 子どもの権利条約の父』講談社 2011
- ・イヴォナ・フミエルフスカ 『ブルムカの日記』,石風社,2012
- ・井上文勝 演劇脚本 『コルチャック先生』 50冊以上
- ・3冊 新保庄三『ポーランドはなぜ条約を提案したのか』
- ・フィリップ・メリユ 『コルチャック先生 子どもの権利を求めて』
- ・カーリン・ストッフフェルス『モイシェとライゼレ』,未知谷,2002年
- ・タミ・シエム 『ほくたちに翼があつたころ コルチャック先生と107人の子どもたち』,福音館,2015
- ・5冊ハンナのカバン/4冊アンネフランク
- ・3冊 リフトン 他・近藤二郎・近藤康子

③上記の他ホロコースト関係やコルチャック関係の映像資料やパンフ、国内演劇関係写真やパンフなどもある。(今後整理紹介)

6. 協会による地方パネル展示・講演会

・学習会の可能性と本協会資料

①コルチャックの言葉や生涯に関するパネル資料は、ラミネート版で利用可のものあり
塚本(小田倉協力)が作成したもの 50-60枚

② Preserved Books, Picture Books, and Documents

- 7 volumes: Tomek Bogacki, "Dr. Korczak: Father of the Convention on the Rights of the Child," Kodansha, 2011
 - Iwona Chmielewska, "The Diary of Blumka," Sekifusha, 2012
 - Fumikatsu Inoue, theatrical script for "Dr. Korczak" (over 50 volumes)
 - 3 volumes: Shozo Shinbo, "Why Did Poland Propose the Convention?"
 - Philippe Merru, "Dr. Korczak: In Search of Children's Rights"
 - Karin Stoffels, "Moishe and Reisele," Michiya, 2002
 - Tami Shem, "When We Had Wings" "Dr. Korczak and 107 Children," Fukuinkan, 2015
 - 5 volumes of Hannah's Bag / 4 volumes of Anne Frank
 - 3 volumes of Lifton and others - Jiro Kondo and Yasuko Kondo
3. In addition to the above, there are also video materials and pamphlets related to the Holocaust and Korczak, as well as photographs and pamphlets related to Japanese theater (to be organized and introduced in the future).

- ③ あなたには子どもを人間として尊重する態度
子どもの中に人間を見る努力が必要

こまかいことにこだわらず
子どもに好意的に確信をもって
子どもの中に人間を見ることが、けっして
軽蔑することなく。

『おもしろ教育学』1939



“ヘレンカ” 1900
S. Wyspiarski (1869-1907)

16 例示 1



例示 2

- ② オープンにしていない”明るい”パネル
(8.で例提示)
コルチャックのメッセージ等の”パネル集”
ポーランドオンブズマン HP 2012 より 約 90 枚

7.教育・児童福祉関係団体への学習協力

◎HP にある本協会の使命・役割の記載
「日本ヤヌシュ・コルチャック協会は、2008 年に
コルチャックが遺したこの遺産を顕彰し、世界の
子どもたちが平和で人間としての権利を育むこと
ができるための環境づくりや研究・実践活動を支
え支援するために設立されました。」

- ・前記ユニセフ協会 鳥取県 千葉県
- ・東京都のツアー団体企画者との懇談とツアー
客への学習会の実施
「何を目的とする(運動)団体」ですか

- ◎コルチャックの子どもの権利への強い関心
- ・週刊”読書人”への寄稿 参考 1
 - ・教育方法学会 2024 年 10 月(札幌) 参考 2
 - ・新教育の伝統ある教育・研究団体のコルチャ
ックへの教育実践や思想への関心

7. Educational Cooperation with Educational and Child Welfare Organizations

◎Description of the Society's Mission and Role
on its Website

"The Japan Janusz Korczak Society was
established in 2008 to honor Korczak's legacy
and to support research and practical activities,
as well as to create an environment in which
children around the world can live in peace and
develop their human rights."

→日本イエナプラン教育協会(2025-7・8月)からのインタビュー 参考3

→来年の幼児教育研究国際大会の研究テーマ 参考4

・児童家庭支援センターあいびー 茨城の社会福祉法人同仁会(2026年3月)予定(Zoom講演)

テーマ “コルチャックと「子どもの権利」”
“基本的なこと”について の要望

<参考1> 週刊“読書人”への寄稿
“子どもの声を聴くために大人は成長できるか”



<参考2> 2024年教育方法学会課題研究テーマ

「子どもの声を受けとめる“子どもの権利”の探究と教育実践」
(子どもの権利に関する意識、子どもとの関わり方)

<参考3> イエナプランのインタビュー質問(抄)

- ① コルチャックは何をした人ですか。
- ② コルチャックの自由のマグナカルタとは?
- ③ コルチャックの孤児院実践、印象的なエピソードは?
- ④ コルチャックの孤児院での子どもとの関わり方や原理とは?
- ⑤ コルチャックは新教育運動をどう評価していたでしょうか?
- ⑥ オランダ・イエナプラン協会のそのプランの中核に、「学びは愛から、つながりから、そして驚きから生まれます」と記され、最初に「愛」が示されています。コルチャックは「子どもをいかに愛するか」を著しました。彼にとって、子どもを愛するとは?
- ⑦ 現在日本の学校で子どもの権利はどのように扱われているか
- ⑧ コルチャックに学び、日本の教育者たちが子どもたちの幸福のためにできることは何か。

<Reference 3> Jenaplan Interview Questions (Excerpts)

- ① What did Korczak do?
- ② What is Korczak's Magna Carta of Freedom?
- ③ What memorable episodes did Korczak share about his orphanage practices?
- ④ What were Korczak's principles and methods for interacting with children at his orphanages?
- ⑤ How did Korczak evaluate the New Education Movement?
- ⑥ At the core of the Dutch Jenaplan Society's plan is the statement, "Learning comes from love, connection, and wonder," with "love" mentioned first. Korczak wrote "How to Love Children." What did loving children mean to him?
- ⑦ How are children's rights currently handled in Japanese schools?
- ⑧ Learning from Korczak, what can Japanese educators do to contribute to children's happiness?

<参考 4 > OMEP 世界幼児教育関係学会
https://omep2026.org/
2026 年 7 月 予定 ポーランド ポズナニ大>>

“When a Child Speaks… Korczak’s
Inspirations for Education and
Children’s Rights.”…

イベントのテーマは「子どもが話すとき…コルチャックの教育と子どもの権利へのインスピレーション」です。…

この会議の主目的は、コルチャックのメッセージ、すなわち、**子どもの声に積極的かつ注意深く耳を傾けることは、子どもの発達、安心感、そして相互尊重を支える上で不可欠である**というメッセージを理解するための場と文脈を創出することです…。

子どもが何を言い、どのように言い、何を必要としているかに敏感であることは、真の人間関係を築き、子どもの包括的な発達を支えるための基盤となります。私たちは、子どもの声に耳を傾けることは、子どもの内面世界を反映し、子どもの持つ力とニーズを認識し、育むことができるため、教育と子育てのプロセスにおいて意義深いだけでなく、不可欠であると信じています。

会議では、コルチャックの価値観とビジョンに着想を得て、**幼児教育における感性と知性のバランス**についても探求します。私たちの目的は、彼の思想が現代の子どもの教育と育成にどのように影響を与え得るか、そしてこれらの価値観を日々の教育実践にどのように実践に移し、一人ひとりの豊かで幸せな発達を促す環境を創造できるかを、共に考えることです。…

8.現在のコルチャック研究の課題

- ・最近の教育の現状とコルチャックへの関心
子どもの権利・子どもの権利条約の礎・源
(人間・人格(感性)から遠ざかる AI 教育)
- ・子どもリスペクト研究会 子ども尊重
子どもの「リスペクト」とは
子どもとしての尊重と人間としての尊重
(ルソーとコルチャック)
- ・子どもの権利条約の原点としてのコルチャック
- ・子どもの人権・権利(主体)を説明する教育書
歴史の中のコルチャックへの言及増加
『子どもの「じんけん」まるわかり』
『こども基本法 こどもガイドブック』
- ・子どもの(権利)研究書
ストレートにコルチャック思想に注目

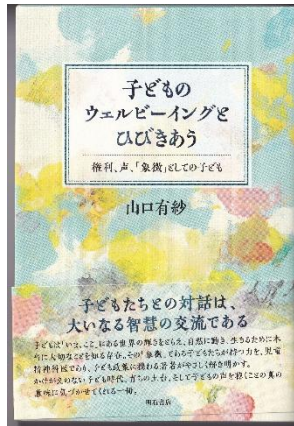
<Reference 4> OMEP World Conference
on Early Childhood Education
https://omep2026.org/
Scheduled for July 2026, Poznan niversity,
Poland >>

“When a Child Speaks… Korczak’s
Inspirations for Education and Children’s
Rights.”… The theme of the event is
“When a Child Speaks… Korczak’s
Inspirations for Education and Children’s
Rights.”The primary goal of this
conference is to create a space and
context for understanding Korczak’s
message: that active and attentive listening
to children’s voices is essential to
supporting their development, sense of
security, and mutual respect. . .

.. We believe that listening to children’s
voices is not only meaningful b·ut essential
in the education and child-rearing process,
as it reflects their inner world and allows us
to recognize and nurture their strengths
and needs. . . Exploring the balance
between sensitivity and intellect in early
childhood education

8. Current Issues Korczak Research in Japan

- ・Recent Educational Trends and Interest in
Korczak’s idears.
Children’s Rights: The Foundation and
Source of the Convention on the Rights of
the Child
(AI Education Moving Away from Humanity
and Personality (Sensibility))
- ・Respect for Children Study Group:
Respect for Children
What is "Respect" for Children?
Respect as Children and Respect as Human
Beings (Rousseau and Korczak)
- ・Korczak as the Origin of the Convention
on the Rights of the Child
- ・Educational Books Explaining Children’s
Human Rights and Rights (Subjectivity)
Increasing References to Korczak in
History
"A Complete Guide to Children’s Humanity"
"Children’s Basic Law: Children’s
Guidebook"
- ・Children’s Rights Research Books
A Straightforward Focus on Korczak’s
Thought



p.232 「権利主体としての子どもの声を聴く」
 「子どもは大人と劣ることはない…大人とは別の思考…感性で思考する…」(コル引用)
 「子どもは子どもの生活の専門家」(国連文書)

p. 232
 "Listen to the voices of children as rights holders"
 "Children are no less than adults... They think differently... They think with sensitivity..." (quoted by Coll)
 "Children are experts on their own lives" (UN document)

<コルチャックの言葉メッセージ等の”パネル集”
 ポーランドオンブズマン HP2012 より約 90 枚>

<コルチャック子ども教育・メッセージの基本>

"子どもの中に人間を見る"



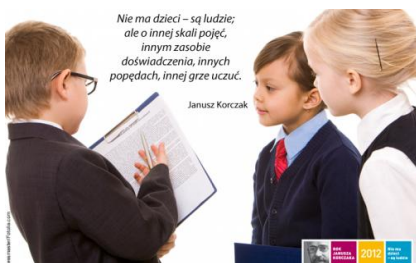
"子どもにではなく子どもと、
 どうなるべきかではなく、どうなりたいか"



“あなたは、子どもの中に、あなたが見たいと思っている子どもだけを見ているのではないか”



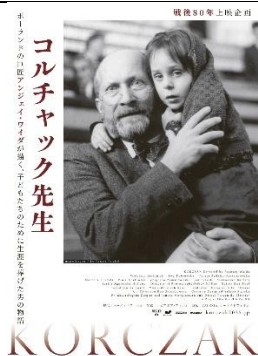
“そこにいるのは子どもでなく・・・人間”



➡ これらの写真は、ポーランド子どもの権利オンブズマン庁がコンクールで集めたコルチャックメッセージをポスター化したもの。90点程ある

- + 子どもの(権利)思想の研究
- + 子ども・教育に関する基本思想
- + 養育実践のさらなる研究
- + 教育学・教育思想と教育方法の全体把握へ
- + コルチャックの生涯 改めて、
今どういう人物
として伝えるか 戦後 80 年
- ・・・ 最近の人がコルチャック先生をみると
(映画評に耳をすませてみたい)

9 映画『コルチャック先生』 リバイバル上映



9. The film "Dr. Korczak" is being shown again across Japan to commemorate the 80th anniversary of the end of the war.

10.近年のわが国での研究の進展

・生涯の研究

… ゲットー日記(石川訳・みすず訳)の翻訳

・原典の翻訳・紹介

『子どもをいかに愛するか』

(日本子どもを守る会"こどものしあわせ"誌

2023年4月-2026年3月

塚本・小田倉・大澤 連載執筆)

①家庭の子ども編 1914-18

②夏季コロニー編 1918

③寄宿舍編 1917-19

④孤児の家編 1917-20

これら全体を貫く思想を考える 広がりや深化

① 学生時代の問題意識

子どもの成長・教育に医者と教育者の協力

(家庭の)子どもの権利 3 権から拡大していく

子どもの総合/子ども=人間の包括的理解

赤ちゃんの人格から子ども期・青年期へ

の全人間的展開

②若き学生の失敗から教育実践のイロハ

③養育・教育の実践の体系的な認識

実践の前提 から 実践の世界

④養育施設の制度システムの全体像

参考までに Eliza Smierczalska(グダニスク 1971-)の論文
Janusz Korczak: Interrogating the Geneva Declaration

…子どもたちによって育てられた作家、思想家、そして成人教育者であるヤヌシュ・コルチャックは、今も健在である。「メスの刃で世界を切り裂く神話的人物」[74]であるこの人物は、私たちが子どもたちとこの世界を共有しているがゆえに、「子どもたちのレベルにまで達する」[75]よう、私たちが招いている。彼は私たちに、「権威」への執着を捨て、子どもたちが与えてくれるものを受け入れるよう求めている。コルチャックは、問いかけ、再考するという困難な道を歩むよう、私たちが招いているのだ。彼は、子どもの権利の概念を再考するよう私たちに求めています。マンフレート・リーベルが述べているように、「子どもの権利の本質を、子ども自身の権利、つまり子ども自身が確立し、実行できる権利(あるいは、子どもに影響を与える決定が子どもの意志に反して行われないことを保証する権利)と理解するならば、子どもの権利の歴史はまだ幼少期にある」[76]からです。子どもと共に働き、彼らが何者であるか、彼らが私たちに何をもち、何を教えてくれるかを大切にすることは、文明的な選択であり、私たちに深遠な変化をもたらします。

変化。この選択は私たちの世界にとって難しすぎて、危険すぎるのでしょうか？ <https://www.okaju.lu/en/100-joer-kannerrechter/janusz-korczak-interrogating-the-geneva-declaration/>

Eng⇒Japane. ⇒Eng. AI-powered translation

“As Manfred Liebel states,
“If we understand **the essence of children’s rights** as children’s own rights, rights that they themselves can establish and exercise (or at least ensure that decisions affecting them are not made against their will), then the history of children’s rights is still in its infancy.”[76]
Working with children, valuing them for who they are, what they bring us, and what they can teach us, is a civilizing choice that will bring about profound change.
Change. Is this choice too difficult, too dangerous, for our world….”

11. コルチャックの児童作品の映画化

キネコ国際映画祭 2024 年(東京)参加
ティーンズ作品/実写長編
『魔法使いのカイトウシ』



父と祖母に育てられた頑固な少年カイトウシ。学校でのトラブルが絶えない中、ある日、魔法が使えることに気づく。しかし、その力はとても危険なものだった。ポーランドの有名な児童書の映画化(ポーランド=チェコ=スロバキア/103min/2023) 監督マグダレナ・ラザルキエヴィツチ



12. 演劇『コルチャック先生』

劇団ひまわりの演劇 2025 年夏
関連 最初の作品 1994-5 年の初演
に至るまでの藤井さんの覚書あり

13. 故松本照男さん(ワルシャワ)追悼

ポーランド在住 50 年。シベリア孤児の歴史発掘をはじめ様々な分野でジャーナリストとしてまた研究者として活躍。2016 年 10 月には日本・ポーランド相互交流・理解に対する多大なる功績に対し外務大臣表彰が授与された。

また、さらに、そのご功績・貢献のひとつとしていいかと思いますが、私どものコルチャック研究への協力です。ワルシャワ国立図書館・ワルシャワ大学図書館、市内書店・古書店での、関連研究書・研究資料、また、コルチャック全集の入手仕事への協力、ポーランドで研究動向の紹介、さらに、何度か企画した現地コルチャックツアーの企画(トレブリンカ、コルチャック施設記念館・市内最後の行進ルート・ユダヤ博物館・アウシュビッツ他博物館・子どもの権利オンブズマン庁視察)同行・通訳、またホテルの手配や食事の手配など、研究

11. Film Adaptation of Kolchak's Children's Book
Participating in the 2024 Kineko International Film Festival (Tokyo)
Teen Film/Live-Action Feature
"Kaitushi the Magician"

We, the Japanese Association, received an invitation from the coach, but unfortunately were unable to attend.

The association's vice president, Ishikawa, translated and introduced the book from the German version.

12. A theatrical performance by the theater troupe "Himawari," which has been performing since the 1990s

13. In Memory of the Late Teruo Matsumoto (Warsaw)

He lived in Poland for 50 years. He was active as a journalist and researcher in various fields, including uncovering the history of Siberian orphans. In October 2016, he was awarded the Minister of Foreign Affairs' Commendation for his outstanding contributions to mutual exchange and understanding between Japan and Poland. Furthermore, one of his greatest achievements and contributions was his support for our Korczak research. He assisted us in acquiring related research books and materials, as well as the complete works of Korczak, from the

者もツアー参加者もありとあらゆることでお世話になりました。松本さんの力があってこそ、日本のコルチャック研究の進展があったと良いと思います。



私たちが科研費研究でお世話になり始めた頃、松本さんがジャーナリスト・研究者として、当時ポーランドのコルチャック研究の重要な一角を担っていた W.タイス・バルバラさん夫妻両教授と「シベリア孤児」研究などを通じて繋がっていたことも、偶然とはいえ本当に幸運なことでした。松本さんには、タイス夫妻と共に、わが国のコルチャック研究に多大なる貢献していただいたことをここに記して、心からの感謝の気持ちを表明させていただきます。

松本照男さん、ありがとうございました。

最後に、みなさまにその一旦をご紹介させていただきます。ポーランド子どもの権利オンブズマン庁主催の国際コルチャック年にタイス教授を日本に招いた年のやりとりです(この手紙に答えることができたか不明ですが、私の回答は2019年の拙著(コルチャックと「子どもの権利」の源流)の2章(最後の行進)で書いたつもりです。

松本さんからの手紙 2012.7.月 「最後の行進」について

塚本さま ご無沙汰しておりますがお元気で過ごしてでしょうか。今年のコルチャック年では11月末にタイスさんを日本に招いてイベントが開催されることがきまったとのこと、まことに嬉しくおもっております。また、同時に札幌へもタイスさんをお招きになるご予定とのこと、これまた喜ばしいことです。さて、先般、Aさんが訪泊されたおり、コルチャック最後の行進について、なにか資料を作成したいので、小生の手元にそれに関するものがあれば書けないかなどとAさんから塚本さんよりの伝言としてありましたが、別宅の倉庫にある資料などを探してみました。

それに関するものはかつて読んだ記憶があるのですが、・・・コルチャック最後の行進伝説はまとめたものがなく、小生手持ちの書

Warsaw National Library, Warsaw University Library, and city bookstores and secondhand bookstores. He also introduced research trends in Poland. He also organized several Korczak tours (visiting Treblinka, the Korczak Memorial Facility, the Last March Route in the city, the Jewish Museum, Auschwitz and other museums, and the Ombudsman for Children's Rights), accompanying and interpreting, and arranging hotel and meal arrangements for both researchers and tour participants. I think it's fair to say that it was Matsumoto's efforts that made progress in Korczak research in Japan possible.

When we first began receiving assistance with our Grant-in-Aid for Scientific Research, Matsumoto, as a journalist and researcher, was connected through research on the "Siberian Orphan" with Professor W. Theis Barbara and her husband, who were playing an important role in Korczak research in Poland at the time. It was truly fortunate, albeit by chance. Matsumoto, along with the Theis, have made such a significant contribution to Korczak research in Japan that I would like to express my heartfelt gratitude to them.

Thank you, Matsumoto Teruo.・・・

物のなかではわずかに2, 3件の目撃者談があるのみでした。それらはすでにコルチャック関連の著者たちが引用しているものだと思います。ただ、これらの著書はポー語ですので、或いは日本の研究者たちはまだ原文で読んでいないということは考えられます。目撃者談として Nachem Remba と Edward Gadowski の両氏が一番信用のおけるものとして評価されており、それ以外にはベルリンで発刊されたドイツ人著者 H.Grynberg(1984 年刊)の著書、ポーランド人の Marek Rudnicki が 1988 年に当地のカトリック系週刊誌に 1966 年に発表した記事がもっとも引用されているものです。

最新刊(2012 年)のコルチャック伝記『コルチャック伝記の試み』、著者: Joanna Olczak-Poronikier にもコルチャックの最後の行進に関連した記述があり、興味深く読ませます。(この書籍はユダヤ系の著名な劇作家が書いたもので、彼女の祖父は戦前出版業を営み、コルチャックの著作を出版しており、

また母親はコルチャックについての思い出の記を戦後、出版しています。500 ページ近い大作ですがこの著者、塚本さんお持ちですか? お持ちでないならタイスさんが訪日の折、彼に持参してもらいますが? 小生、この本だったら日本語に訳してもいいなと思いがら読みました。) 小生の手元にあった本で、昔読んで感心した本があります。著作名は『Korczak z bliska-近くからみたコルチャック』—1985 年刊行、著者名; Kazimierz Debnicki で、この著者は戦中、左翼系統の地下抵抗運動にたづさわっており、当時の状況のなかではマイナーな存在の抵抗組織運動の一員でしたが、ゲットー内でのユダヤ人たちとも関係を持ち、その活動の中でコルチャックと何度も話し合いもち、特に孤児院の子どもたちの救済に従事していました。戦後になってからコルチャックとの会話を思い起こしながら回想していますが、なぜコルチャックがゲットーから避難しなかったかという、その考え方が如実にわかります。この対話部分は是非、紹介したいものです。

以上、タイスさんの札幌訪問を期に、資料を作成刊行するご予定でしたら、小生、微力ながら手元の資料をもとに一文作成することにはやぶさかではありません。...専門違いの小生ですが、なんとか仕上げることは出来ると思っています。... (2012)

7/4

松本照男



アンジェイ・ワイダ監督映画コルチャック先生より
(Agnieszka Holland, Korczak, Warszawa)

(以上、コルチャック通信 21 号)

I have a book that I read a long time ago that really impressed me. The book is called "Korczak z bliska - A Closer Look at Korczak" and was published in 1985 by Kazimierz Debnicki.

The photo below is from a special exhibition held at the National Film Archive of Japan from the end of last year to this year(下の写真は、昨年末から今年にかけて国立映画アーカイブにおいて開催された企画展より)



『コルチャック先生』(1990 年)撮影中のアンジェイ・ワイダ
<https://www.nfaj.go.jp/exhibition/andrzejwajda2024/> 企
画展 “映画監督 アンジェイ・ワイダ” Film
Director Andrzej Wajda より

That's all, issue 21